

お手数ですが、関係者へご案内ください。

医療安全教育セミナー2017年度冬期 (事故原因分析編)

医療安全の原因分析と改善方法 ---ヒューマンファクターとリスク学---

会場：2018年1月22日(月)～24日(水)

会場：東京大学本郷キャンパス (定数400名)

東京都文京区本郷7-3-1。地下鉄丸の内線本郷三丁目駅徒歩10分。東大赤門付近。

主催：国際医療リスクマネジメント学会

後援：日本医療安全学会

受講対象者：学会員(国際医療リスクマネジメント学会ないし日本医療安全学会)、医療施設経営者、専従医療安全管理者、専任医療安全管理者、医療安全管理者、歯科医療安全管理者、リスクマネージャー、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、臨床工学技士、放射線技師、臨床検査技師、医療事務関係者、医療産業界関係者、その他の医療従事者。

(趣旨) 本プログラムは、厚生労働省の診療報酬改定による「医療安全対策」として診療報酬申請に加算する際に、加算の対象となる2017年度の研修教科内容(年間40時間以上)の1部にもなります。

また、学会認定「高度医療安全管理者」資格制度ならびに「高度医薬品安全管理者」資格制度での必須科目の1つです。
参加者には受講終了書を発行します。

講義・実習の内容

- 講義 ■ 「医療事故の原因分析 ---ヒューマンファクターとリスクアセスメント」
- 講義 ■ 「解剖による医療事故原因探索」
- 講義 ■ 「RCA(根本原因分析法)の基本」
- 演習 (1) ■ 根本原因分析(RCA)演習
- 講義 ■ 「医療安全のリスク分析・評価の方法」
- 講義 ■ 「FMEA(設計故障モード影響解析法)の基本」
- 演習 (2) ■ 設計故障モード影響解析(FMEA)演習
- 講義 ■ 「KYT(危険予知訓練法)の基本」
- 演習 (3) ■ 危険予知訓練(KYT)演習
- 総合討論会 ■

参加申込締め切り：2018年1月15日

定数(400名)になり次第、締め切ります。

参加費は下記ホームページに掲載した申込書をご覧ください。

医療安全教育セミナー2017年度冬期

---医療安全管理研修会事務局

国際医療リスクマネジメント学会本部気付

〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102

(Tel / Fax) 03-3817-6770

(電子メール) head.office01@iarmm.org

研修会ホームページ <http://www.iarmm.org/J/PS2018Jan/>

お手数ですが、関係者へご案内ください。

医薬品安全管理研修会 2017 年秋季

テーマ： 医薬品事故防止のための病院内での運用面、システム面での取り組み

(第1回) 会期 2017年12月2日(土) 午前10時～午後4時50分、 受付開始:午前9時
(第2回) 会期 2016年12月3日(日) 午前9時～午前12時、 受付開始:午前8時30分
会場: 東京大学法文1号館2階25番講堂 (東京都文京区本郷7-3-1) 地下鉄本郷3丁目駅から徒歩10分

厚生労働省2007年3月26日省令により、薬局開設者はその従業員に対し、医薬品安全管理上の指定課題に関する年2回程度の教育研修会の開催を義務されました。本セミナーは、各病院薬剤部や薬局開設者による医薬品安全管理研修会に対し、基礎となる参考資料を提供するものです。参加者には2日分の受講証をお渡しします。

本プログラムは学会認定「高度医薬品安全管理者」資格制度での必須科目の一部ともなります。

受講対象者: 国際医療リスクマネジメント学会ないし日本医療安全学会の会員、医薬品安全管理者、薬剤師、医師、看護師、医薬品製造・輸入・販売業者、その他

プログラム

2017年12月2日(土)

午前10時～10時50分 睡眠薬の適正使用-入院患者の睡眠薬についての満足度とその評価-
大谷道輝 杏雲堂病院薬剤科 薬剤科長
午前11時～12時 医薬品安全のための地域包括ケアにおける薬剤師のコミュニケーション
井手口直子 帝京平成大学薬学部 教授
午後1時～1時50分 特別セッション (新規薬剤)
-ニボルマブの適正使用 (他の分子標的薬との比較) -
講師調整中
午後2時～2時50分 特別セッション (新規薬剤)
-緩和ケアで使用する新規薬剤の適正使用 (ヒドロモルフォン塩酸塩、ナルデメジントシル酸塩)
講師調整中
午後3時～3時50分 医薬品外観類似データベースの構築と有用性評価
百賢二 帝京平成大学薬学部 准教授 前筑波大学病院薬剤部

2017年12月3日(日)

午前9時～9時50分 医薬品リスク管理計画 (RMP) の医療現場での効果的な活用法
独立行政法人医薬品医療機器総合機構 PMDA (講師調整中)
午前10時～午前10時50分 塩化カリウム注射薬製剤の適正使用を目的とした院内での取り組み
夏目義明 横浜労災病院薬剤部 薬剤部長
午前11時～12時 医薬品安全の視点に基づいた統計データの活用について
濃沼政美 帝京平成大学薬学部 教授

参加申込締め切り: 2017年11月20日

定数(600名)になり次第に、申込受付を閉め切ります。

参加申し込み方法: 下記のホームページをご覧ください。
参加費を掲載しています。

担当事務局

国際医療リスクマネジメント学会本部
(〒)113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102
(電子メール) head.office01@iarmm.org
(Tel/Fax) 03-3817-6770

ホームページ <http://www.iarmm.org/J/Drug2017/>